

無所属



令和7年度新規・拡充
などの主な施策の中から

白井 照人 議員

中学校体育館
空調機設置

問 設置する目的と設置校の選定理由を伺う。

企画政策部長 授業や部活動などの暑さ対策と避難所の環境改善を図るため、築年数が古く、面積が異なる3校の中学校に設置する。

問 国や県などの補助金や助成金はあるのか伺う。

教育総務部長 空調設備整備臨時特例交付金や緊急防災・減災事業債などいくつかある。

問 有事の際の空調機の電源確保を伺う。

教育総務部長 発電機の検証と検討をしていく。

びわ青少年の家
魅力アップ

問 整備内容と期間を伺う。

インターネット中継

本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。



請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。

提出方法などについては、市議会ホームページをご覧ください。



問 利用者からどのような意見があるのか伺う。

健康・子ども部長 食堂などへの空調機設置や宿泊棟のトイレのバリアフリー化、個別に利用できるシャワーブースを望む意見がある。

問 アスレチックコースの再整備について伺う。

平塚市文化公園会館の設置
及び管理を市民の視点から

佐藤 由美子 議員

問 令和8年度に勤労会館、青少年会館、教育会館が統合し、平塚市文化公園会館がオープンする。利用時間を2時間単位とし、料金を400円から1800円まで徴収することが条例に記載されている。これまでは、登録団体であれば一部の部屋を除き、無償で貸し出されてきた。有料化の理由と金額について伺う。

問 面前DVとは、子どもの前で配偶者を殴る、蹴る、暴言を吐いて罵るなどの行為である。面前DVは子どもへの心理的虐待にあたり、現在増加している。本市は周知活動を行っているのか伺う。

面前DVなど子ども
への心理的虐待対策

問 面前DVとは、子どもの前で配偶者を殴る、蹴る、暴言を吐いて罵るなどの行為である。面前DVは子どもへの心理的虐待にあたり、現在増加している。本市は周知活動を行っているのか伺う。

健康・子ども部長 インクルーシブ遊具の設置の要望は受けている。

東海道本通り
線の景観整備

問 令和7年度以降の無電柱化などの計画について伺う。

まちづくり政策部長 7年度から共同溝への電線の設置や既存の電柱撤去、北側歩道と同様の整備や植栽を計画している。

中学校の部活動
地域移行について

問 部活動を地域展開することでのメリットもあるが、指導者の人員不足、家庭への経済的負担、指導員の資質の問題など課題も考えられる。部活動の在り方に対する見解を伺う。

学校教育部長 地域のクラブなどで活動する部活動地域展開と、部活動指導員などの地域人材を活用することなどによる部活動地域連携の両輪で、本市に適した部活動改革を推進していくことが重要だと捉えている。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

都市建設

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 道路新設改良費の生活道路整備事業について、徳延38号線の工事費が計上されているが、工事費用と工事内容、その目的を伺う。

答 予算は約2500万円を計上している。工事内容は、徳延38号線に側溝の整備を行うもので、約120メートルである。目的は県の河内川の護岸整備に伴い、側溝を整備するものである。

問 建築指導費の建物の耐震性向上促進事業について、令和7年度の耐震診断や改修工事の見込み件数と、昭和56年以前の耐震基準の建物の数を伺う。

答 7年度の予算計上件数は、耐震診断が80件、耐震改修設計が55件、耐震改修工事が50件である。56年以前の旧耐震基準の建物の数は、平塚市耐震改修促進計画で公表している2年度時点での数値だが、1万3200戸と推計している。

教育民生

議案1案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 戸籍住民基本台帳費のマイナンバーカード交付事業について、市役所の窓口を増設することだが、期間を伺う。

答 当面は、電子証明書の更新のピークを迎える令和7年度から9年度の3年間を予定している。

問 教育指導費の放課後自主学習教室事業について、実施校と学習支援員に関して伺う。

答 松延小学校、大野小学校、神田小学校、みずほ小学校、勝原小学校、金目小学校で実施している。学習支援員は、実務経験者やOBが中心となっている学習支援コーディネーターや学習支援サポーターとしてサン・サンスタッフに手伝ってもらっている。また、学生サポーターとして、東海大学の児童教育学部の学生にも協力してもらっており、この3者を中心に運営している。

環境厚生

議案12案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 児童福祉費の子どもの未来支援事業について、令和7年度の具体的な取り組みを伺う。

答 6年度と同様に食事の提供を手段として訪問し、家庭の様子を確認する訪問型支援対象児童等見守り強化事業や居場所を設けて食事の提供や相談支援、地域における子どもの見守り体制の強化を支援する居場所型支援対象児童等見守り強化事業、訪問支援員が居宅を訪問して家事又は育児の支援を実施する子育て世帯訪問支援事業の3つに取り組む予定である。

問 予防費の健康増進事業について、がん検診や結核検診などのパンフレットを作成するとあるが、パンフレットの内容について伺う。

答 がん検診の受診勧奨と予防接種の情報提供である。予防接種については、接種するしないに関わらず、さまざまな情報を伝えたい

と考えている。

問 廃棄物処理費のごみ収集運搬事業の委託料の増額理由を伺う。

答 可燃ごみ及び資源再生物（ペットボトル・容器包装プラスチック）収集運搬の委託料について、7年度に新たな地区を委託するため、増額されている。

○議案第31号 令和7年度平塚市病院事業会計予算

問 国では2040年に向け、新たな地域医療構想の模索をしており、在宅医療・介護の連携も視野に入れる方向性も示している。今後の地域医療構想に向け、急増する高齢患者への対応として、平塚市民病院の考えを伺う。

答 地域の中で医療を完結させるという意味では、役割分担が重要であると考えている。高度急性期を担う当院は、救急の患者を多く受入れて重症患者を入院させるという役割がある。その役割が終わった後は、ほかの病院に転院する締結を行っている。限られた病床を効率的に使用し、なおかつ入院が必要である市民の希望に応え、地域で調整できる運用を行っている。